



ENJOY & CHALLENGE

Since 2017



2026年2月6日発行

教育目標「生き生きとした子ども」 小中一貫校まつのやま学園だより 第10号

新たな一步へ 後期学校評を受けて

学園長 渡邊 進

「学校評価」とは、学校が行っている教育活動や学校運営を振り返り、成果と課題を明らかにして、よりよい学校づくりにつなげるための仕組みです。保護者・地域の皆様、教職員の声を生かし、次年度の改善に反映させていきます。

当学園が、なにを大切にし、どんな成果と課題があるのか、学校評価4部会の評価を中心に、以下に共有します。

○ まなび（学力向上）

前期→後期

項目	児童生徒評価	保護者評価
意欲的に楽しく学習している。	85% → 81%	77% → 82%
学習の場で自分の思いや考えを進んで伝えている。	80% → 84%	86% → 95%
家庭学習「学年×10分以上」取り組んでいる。	56% → 57%	60% → 60%

【成果】

子どもの「自分の思いや考えを進んで伝えている」の項目と、職員評価「思いや考えを伝える対話のある学びを工夫している」の項目で肯定的評価が高まっている。授業では、話し合い活動やICTを活用した意見交換（対話のある学び）を重視した指導をしており、今後も継続していく。

【3学期や次年度に向けて】

授業規律等の学習に向かう姿勢や家庭学習に対して学年及び教育期で指導を行っている。家庭学習への取組が改善されておらず、職員の指導が効果的に機能していないことが伺える。今後は、家庭学習の様子を児童生徒で共有したり、学習強調週間に家庭学習について考える機会を設定するなどし、家庭学習の向上を図っていく。

○ からだ（健康・体力）

前期→後期

項目	児童生徒評価	保護者評価
運動・スポーツに前向きに取り組んでいる。	80% → 85%	75% → 65%
規則正しい生活（運動・食事・睡眠）を意識している。	86% → 82%	80% → 80%
家庭でメディア利用の約束をして、その約束を守っている。	77% → 81%	52% → 49%

【成果】

地域の行事などへの積極的な参加や、いきいきアップ（朝の運動）の継続、体育授業の改善などを通して、体力向上や健康維持に対する子どもの意識が高まっている。メディア利用についても子どもの数値が改善している。保護者の肯定的評価は若干下がっているが、強い肯定が8.3%から20%と高まっている。

【3学期や次年度に向けて】

メディアの利用に関して、子どもと保護者の捉えの差が依然として大きい。9月実施のPTAメディア講演会では保護者や地域の方向けの講話を設け、その成果として強い肯定数値の高まりが見られた。今後も、メディア利用のルールが各家庭に浸透し、メディア利用時間を見直すよう「まつのやま生き生き週間」などの機会を利用し、働きかけを行っていく。

※体力テストの結果

小・中共に体力は高い状況にある。特に、全身持久力（シャトルラン）は県平均を大きく上回っている。課題となる能力は、投運動・巧緻性（小学部：ソフトボール投げ、中学部：ハンドボール投げ）、柔軟性（長座体前屈）であった。

○ ゆめ（不登校・いじめ防止）

前期→後期

項目	児童生徒評価	保護者評価
学園生活で自分の役割を果たし前向きに生活している。	93% → 96%	90% → 96%
「チャレンジ班活動」などを通して温かな人間関係づくりに努めている。	96% → 88%	
いじめはどんな理由があってもやってはいけないことだと思う。	99% → 99%	95% → 98%
学園は、いじめ・不登校の未然防止、早期発見早期対応、解消に努めている。	91% → 93%	

【成果】

子どもは自分の役割を果たして前向きに生活し、温かな人間関係づくりに努めていると評価している。教職員評価では、毎週実施している子どもの情報交換の会で情報を共有し、同一歩調で子どもへ支援することができた。

【3学期や次年度に向けて】

2学期は学園フェスタなど「チャレンジ班」活動をとおして、人間関係づくりや自己の役割を果たす活動が多くあった。自己肯定感を高める子どもがいる一方、人間関係づくりで評価の下がった児童生徒もあり、個々の支援を大切にしていく。

教職員評価では、キャリア教育の視点での指導の再確認、子どもの学びを綴るキャリアパスポートの内容の統一が課題となった。

※1・2学期いじめ認知件数 小学部4件・中学部3件（3件解消、4件未解消）

○ きずな（インクルーシブ・総合支援）

＜子ども自己評価結果＞

前期→後期

項目	肯定的評価
一人一人のちがいや個性を大切にして、仲間と接することができる。	99% → 99%
誰にでも思いやりをもって接している。	93% → 97%

＜保護者評価結果＞

お子さんは、仲間と互いに認め合い、協力して学校生活を送っている。	95% → 98%
学園は、個性を認め、個に合った指導・支援を行っている。	95% → 91%

【成果】

子どもは互いの違いや個性を大切にし、思いやりをもって接している。

教職員評価では、特別な支援が必要な児童生徒について、個別の教育支援計画・個別の指導計画を計画的に作成し、その共通理解を基に支援・指導にあたることができた。後期は、保護者や教育委員会、関係機関と連携し、諸検査や相談を進めることができた。

【3学期や次年度に向けて】

特別な支援が必要な子どもを早期に集約し、対応を行っていく。今まで教職員を対象に行ってきた特別支援教育にかかる研修会を、保護者も参加できるようなテーマ・日程での実施を検討する。

○ 地域・家庭（小中一貫教育）

＜子ども自己評価結果＞

項目	肯定的評価
家庭の中でお手伝いなどの役割がある。	63% → 63%
この松之山のふるさとを自慢することができる。	92% → 94%
まつのやまタイムや部活動などで地域の人と触れ合うことが好きだ。	89% → 91%

＜保護者評価結果＞

学園は、保護者・地域住民へ呼び掛けなど一体となった活動に努めている。	95% → 100%
学園は、保護者参観やおたより等で小中一貫教育の具体的な取組や成果・課題を公表している。	92% → 100%

「家庭の中の役割」の評価が改善されていない。家庭での役割を1つ担う、進んでお手伝いをするよう指導をしていく。2学期も「まつのやまタイム」を中心に、地域に学ぶ学習を進めることができた。子どもの地域への愛着、保護者の小中一貫教育への評価については、引き続き高い評価となっている。今後も、保護者、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら「生き生きとした子ども」の育成を目指して教育活動を推進する。

◆1月7日（水）～中学校スキー大会

◆中越地区XCスキー大会（1/7～8：マウンテンパーク津南）

- ・男子5kmフリー 第8位：8年 S・Hさん



◆中越地区APスキー大会（1/7～8：松之山温泉スキー場）

- ・男子回転 第4位：8年 I・Dさん



◆新潟県XCスキー大会（1/13～16：吉田XCコース）

- ・男子5kmフリー 第8位：8年 T・Rさん **【全中出場】**
- 第12位：8年 S・Hさん **【全中出場】**



◆新潟県APスキー大会（1/13～15：妙高赤倉スキー場）

- ・男子回転 第4位：8年 I・Dさん **【全中出場】**
- ・男子大回転 第4位：8年 I・Dさん **【全中出場】**

どの生徒も、目標に向かいひたむきに努力し、仲間と支えあう姿がたくさん見られました。

◆1月15日（木） むこ投げ・すみ塗り

ホップ期の児童は、事前に温泉組合の島田様を講師にお招きし、その歴史や行事の流れについて教わってから参加しました。薬師堂で婿投げを間近に見た後は、すみ塗りに参加しました。すみ塗りでは、「おめでとう」と声を掛け合い、お互いの顔にすみを塗り合い健康を祈願しました。



◆その他(湘南学園交流会・つくし総会・星 瑞枝選手によるスキー授業・松連スキー大会)



【表彰】

- ・「ごみ減量に関する標語コンテスト」 優秀賞
6年 M・Aさん
- ・「税についての作文」 十日町納税貯蓄組合連合会 優秀賞
9年 T・Mさん
- ・「社会を明るくする運動作文」 特別賞(新潟県保護司会連合会
長賞)
9年 K・Aさん



2・3月行事予定

【生活目標】 あいさつは心と心を結ぶ橋

日	曜	行 事	日	曜	
1	日	松之山スキー競技大会	20	金	小学部 AP 信越学童スキー大会
2	月	振替休業日	21	土	
3	火	第3回家庭学習チャレンジウィーク(～16日) 中体連全国スキー大会(～6日)	22	日	小学部 CC 県学童
4	水		23	月	天皇誕生日
5	木	H期スキー授業	24	火	授業参観(5限) PTA 総会
6	金		25	水	5～8年スキー授業
7	土		26	木	
8	日		27	金	9年生を祝う会
9	月	5～8年スキー授業	28	土	
10	火	移行学級 テスト前部活動停止(～17日)	3月		
11	水	建国記念の日	1	日	
12	木	H期スキー授業(講師:清水久之さん)	2	月	5～8年スキー授業(小野塚 彩那さん)
13	金	中体連郡新人 XC 大会	3	火	卒業式予行練習
14	土	妻有雪ん子造形展	4	水	9年5限下校
15	日	妻有雪ん子造形展	5	木	卒業式前日準備 9年3限下校
16	月	7・8年定期テスト 小国語漢字力テスト	6	金	卒業式
17	火	7・8年定期テスト 小算数計算力テスト 9年入試直前テスト	7	土	
18	水	全校スキー学習	8	日	
19	木	保育園児給食試食会	9	月	